

空き家バンクを利用してみませんか！

五島市では、市内の空き家の有効活用により、市外からの移住及び市内での定住の促進を図るため、「五島市空き家バンク制度」を創設しています。

お問い合わせ 五島市地域協働課 76-3070
おくら夢のまちづくり協議会 73-0939

空き家バンクの流れ

空き家を貸したい、売りたい方

▼空き家を貸したい、売りたい

- 市役所地域協働課へご連絡ください。
 - 空き家バンクへ登録します。
 - 空き家バンク登録申請書
 - 誓約書（町内会加入）
 - 所有者等を確認できる書類
- 市役所地域協働課へ提出

▼現地調査

- 市の担当者が、空き家の状態を確認します。

▼空き家バンクの情報が提供されます

- 物件情報が公開されます。
- ※物件登録者の個人情報は公開されません。

▼現地見学

- 利用者からの要望により、物件の見学を行います。
- 所有者、管理者の許可を得て、内部を見学することもあります。
- ※物件の鍵は、登録者が管理をお願い致します。

▼物件交渉

- 個人間又は不動産業者の仲介のもと交渉となります。
- ※売買の場合は所有者にも手数料が発生します。

空き家を借りたい、買いたい方

五島市への移住を希望している方、及び市民への情報提供がされています。

（転勤、季節労働等により一時的に転入する者及び所属する世帯に国家公務員及び地方公務員がいる者は除きます。）

※市民の方は、五島市空き家バンク制度を利用できませんが、五島市空き家活用促進事業（空き家バンクリフォーム）補助金を活用することはできません。

- 市のホームページや窓口で空き家バンクに登録されている物件情報が公開されています。

▼物件を見学したい場合は

- 空き家バンク利用申請書
 - 誓約書（町内会加入）
 - 現住所が確認できる書類
- 市役所地域協働課へ提出

▼気に入った物件があったら

- 市の担当者、市内不動産業者がご案内します。

▼交渉を希望される場合は

- 市役所地域協働課までご連絡下さい。
- 当該物件が、市ホームページ上で「交渉中」と表示されます。

▼物件交渉

- 物件の交渉については、個人間をお願いします。
- 情報提供や必要な連絡調整等は行います。

▼契約成立・新生活スタート

- 市役所地域協働課までご連絡をお願いします。

買物支援送迎事業 ドライバー/補助員 募集中!!

ドライバー/補助員 募集時間枠①~④

第1・第3火曜日

- ① 午前の部
- ② 午後の部

第1・第3水曜日

- ③ 午前の部
- ④ 午後の部

お問い合わせ
おくら夢の
まちづくり協議会
73-0939

ドライバーのタイムスケジュール 第1・第3火曜日の場合

午前の部	午後の部
榎ノ浦アコウ前 9:30発	嵯峨瀬漁港入口 13:30発
↓	↓
シティーモール 9:50/バリュー 9:55	奥浦出張所 13:41/栄林寺 13:42
↓	↓
浜泊公民館 10:18/大泊公民館 10:30 南河原公民館 10:38	シティーモール 14:00 バリュー 14:05
↓	↓
シティーモール 10:55/バリュー 11:00	バリュー 15:05 シティーモール 15:10
↓	↓
バリュー 11:00/シティーモール 11:05	嵯峨瀬、奥浦地区のお客様を乗せて戻ります。
↓ 榎ノ浦のお客様を乗せて戻ります。	栄林寺/奥浦出張所/嵯峨瀬漁港入口
榎ノ浦アコウ前	
↓	
バリュー 12:00/シティーモール 12:04	
↓ 浜泊、大泊、南河原のお客様を乗せて戻ります。	
浜泊公民館/大泊公民館/南河原公民館	

※補助員は、サポートが必要なお客様の買物と一緒に付き合ってください。

★月1回発行 長崎県五島市（奥浦地区）戸別配布

～奥浦だより～

よかところ！おくら

2月号

おくらの樹木図鑑 河津桜

— もじ —

- おくらの樹木図鑑 河津桜
- 奥浦地区の人口
- 全国ほんもの体験フォーラムin長崎・五島 開催案内 参加者募集
- 民泊体験 民泊家庭 インストラクター 会員募集中
- 奥浦の捕獲隊ご存知ですか？
- 空き家バンクを利用してみませんか！
- 買物支援送迎事業 ドライバー/補助員 募集中!!

桜のイメージは、春先に咲くソメイヨシノを思い浮かべるかもしれませんが、奥浦出張所前では、一足先に河津桜が咲きました。河津桜は、1月下旬から2月にかけて開花する早咲き桜です。

花は桃色ないし淡紅色で、ソメイヨシノよりも桃色が濃いのが特徴で、また花期が1ヶ月と長く楽しむことが出来ます。

河津桜は寒桜のひとつで、寒桜は、旧暦の正月あたりに咲くことから、別名でガンジツザクラ(元日桜)とも呼ばれています。

桜は種類が多く、ソメイヨシノが終わるころ八重桜やカスミ桜が楽しめますし、秋から冬にかけて花を咲かせる十月桜や冬桜という品種もあります。

これからの時期、寒の戻りが繰り返されると思いますが、心は桜色に華やかにありたいですね。

奥浦地区の人口

(H30.12.31現在)

<総数>

1,001人

(先月人口総数より1人↑)

前年12月末: 1,054人

平均年齢: 58.3歳
高齢化率: 46.55%
(-0.05)

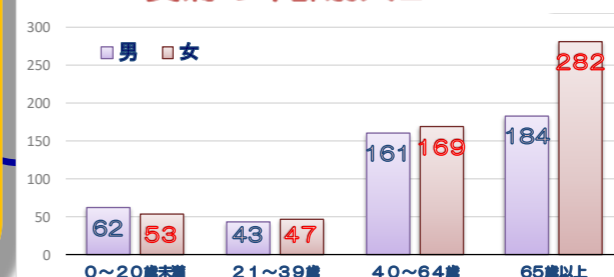
奥浦の45歳以上の人口の割合

44歳以下の人口, 245人

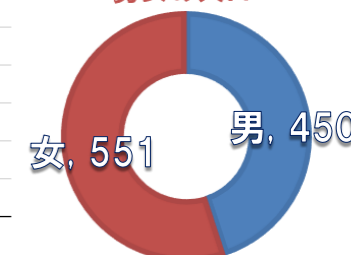


45歳以上の人口, 756人

奥浦の年齢別人口



男女の人口



祝！世界遺産登録記念！！

第15回

全国ほんもの体験フォーラム in 長崎・五島

感動！人が高まる旅



開催期間

3月21日(木・祝)～23日(土)

3月21日(木・祝)・22(金)・23日(土)五島市内におきまして、『第15回全国ほんもの体験フォーラム』が開催されます。

『全国ほんもの体験フォーラム』とは、『ほんもの体験は地域を元気にし、日本の未来を拓く』をテーマに、その取組などをパネルディスカッション形式で発表し、民泊や体験型観光の重要性と発展を目指し行われています。

今回は、全国各地より約700名の民泊や体験型観光に取り組んでおられる方々が五島市に集い、情報交換を行います。これまで全国各地で14回開催されてきましたが、離島では初めての開催です。

本フォーラムでは、全体フォーラムの第1部で体験者の事例発表や、各課題別研究分科会で、全国各地のパネラー代表者の発表があります。

近年、修学旅行で五島市を訪れる学校も増加しており、多くの学生が、農林漁業体験民泊を通して、島民との心温まる交流を楽しんでおりますが、「五島の魅力とは？」を多くの方に知って頂きたいと、それぞれの会場で五島市代表の方々も発表を行います。

第2部では、『感動！人が高まる旅』をテーマに、全国ほんもの体験ネットワーク会長の藤澤安良氏が、公開パネルディスカッションをされます。

第3部の情報交換会では、会場に居ながら五島の全てを皆様方に知って頂こうと、郷土料理や地酒を準備した立食パーティー。地酒のPRコーナーや五島市の伝統芸能などのアトラクションも披露されます。

本フォーラムは、事前にお申込み頂くとどなたでも参加できます。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

参加者募集

事前受付締め切り 2月20日(水)まで
市内参加者は参加費無料です。
但し、第3部の情報交換会のみ4,000円の参加費が必要です。

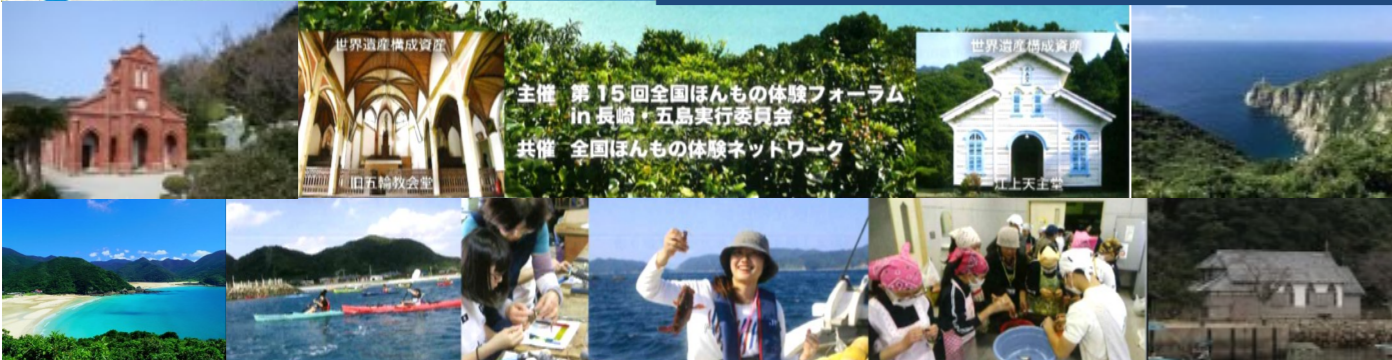
事前受付・お問合せ

おくら夢のまちづくり協議会
73-0939 小嶋までご連絡ください。

プログラムのご案内

2019年

- 3/21(木) 全体フォーラム/福江文化会館(大ホール) 情報交換会 /五島市中央公園体育館
- 3/22(金) 課題別研究分科会/福江文化会館、福江島開発総合センター、富江町公民館、体験ツアー /五島市
- 3/23(土) 体験ツアー /五島市



民泊体験

民泊家庭インストラクター 会員募集中

お問合せ おくら夢のまちづくり協議会(小嶋) 73-0939



大人気屋食は五島うどんの地獄炊き！！

民泊体験 修学旅行スケジュール <2泊3日の場合の一例>

- ★1日目 18:20 ジェットfoil福江着 入村式 19:00 対面式 終了後各家庭に移動 民泊体験
- ★2日目 9:00~13:00 ふれあい交流体験 民泊先と一緒に屋食を作ったりします。 13:30~16:30 選択体験 インストラクターと一緒に体験活動を行います。 終了後各家庭に移動 民泊体験
- ★3日目 8:00 離村式 9:20 ジェットfoil福江発

民泊家庭

教育旅行のお手伝いです。普段していることを一緒に体験してもらいましょう。

対面式の10分前くらいに集合場所に集合してもらいます。

対面式 民泊先と生徒との対面式 終了後各家庭に移動

※移動は体験活動を含め、基本各ご家庭での送迎になります。

車を所有していない、仕事の都合で送迎が出来ないなど、送迎が難しい場合は、協議会が対応しますのでご相談下さい。

離村式の10分前くらいに集合場所に集合してもらいます。

離村式 民泊先と生徒とのお別れ式

インストラクター

何ぼする人ね？

生徒たちの体験活動を、自分の得意分野で3時間指導サポートしてもらいます。例えば…

- ・波止釣り・磯遊び
- ・そば打ち・かんころ作り
- ・すり身揚げ作り
- ・スタンドグラス
- ・郷土の料理やお菓子作り

民泊家庭としてお手伝いは出来ないけど、インストラクターなら…で大丈夫！

13:30~16:30 生徒たちの体験活動を指導サポート。



ご飯のかまえばどがしよと？

前回の生徒と今回の生徒は全く違う子なので、定番メニューでおもてなし おもてなしメニューの一例 地産地消の食材を使って

- ★1日目
 - ・刺身・煮つけ
 - ・潮豆腐の白和え
 - ・ご飯・味噌汁
 - ★2日目屋食
 - ・五島うどんの地獄炊き
 - ・巻かまぼこ
 - ・青菜の和え物
 - ★2日目夕食
 - ・唐揚げ・南蛮漬け
 - ・すり身など
 - ・煮しめ・酢の物
 - ・ご飯・味噌汁
- ふれあい交流体験と一緒に作った
- ・つきあげ
- 生徒が選択体験で釣って捌いた魚で
- ・魚の漬けも人気があります！ 朝からだってお茶漬にして大喜び！！

奥浦の捕獲隊ご存知ですか？

イノシシは秋が繁殖時期で、厳しい冬場を乗り越えて、春先に出産を迎えます。山に餌が乏しい秋から冬の時期、集落に野菜の収穫残渣や、収穫していない木の実などがあると、「餌付け」の原因となり、春には生まれた子を連れて、集落に出足するようになります。

農作物の被害や人が被害を受けない様に、1人1人が心がけましょう。

それでも、被害件数が減っていないのは現状です。

その被害を1件でも減らそうと頑張っているのが、奥浦の捕獲隊です。

捕獲隊って何？

- 国の制度を活用した捕獲組織
- 有害鳥獣捕獲における狩猟免許を有しない従事者容認事業
- リーダーと捕獲補助員から構成される
- リーダー：狩猟免許を所有し、捕獲補助員に指示を行う
- 捕獲補助員：リーダーの指示のもと捕獲作業の補助を行う



捕獲隊

狩猟免許保持者

- ・指導 ↓ ↑ ・連絡
- ・監督 ↓ ↑ ・作業補助

有害鳥獣捕獲補助員

捕獲隊の動き

- 箱わなの設置
- ↓
- 餌やり・見回り
- ↓
- 止め刺し
- ↓
- 埋焼却処分
- ↓
- 箱わなの再設置



猪注意